

① 海地獄

国指定名勝



神秘的で涼しげなコバルトブルーの池…。じっとみていると海のように見えますが、実は摂氏98度もあるのです。今から1200年前に鶴見岳の爆発によってできました。豊後風土記にいうところの「玖倍理の湯」にあたります。



② 鬼石坊主地獄

灰色の熱泥が大小の球状をなして沸騰する様が坊主頭に似ており、鬼石という地名に由来して鬼石坊主地獄と呼ばれています。

③ 山地獄



山のいたるところから噴気が上がっているため山地獄と呼ばれています。温泉熱の利用により飼育されている、世界各国の珍しい動植物はみんなイキイキ。泉温90度。



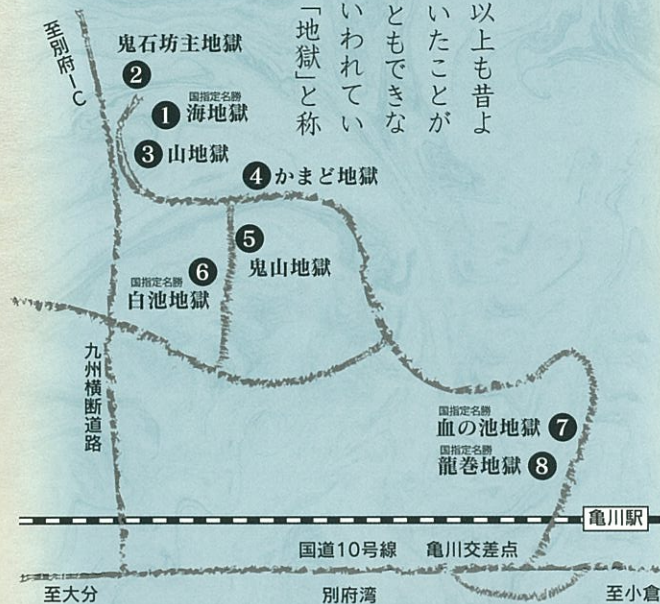
④ かまど地獄

昔、氏神甕門八幡宮の大祭に地獄の噴気で御供飯を炊いた習わしがあったところから名付けられました。猛烈な噴気と共に高熱温泉を出しています。泉温90度。

“地球の神秘があなたを魅了する。”

”地獄“の名称由来

ここ鉄輪・亀川の地獄地帯は、千年以上も昔より噴気・熱泥・熱湯などが噴出していたことが「豊後風土記」に記せられ、近寄ることもできない、忌み嫌われた土地であったといわれています。そんなところから、人々より、「地獄」と称せられるようになりました。今も鉄輪では、温泉噴出口を「地獄」とよんでいます。



【国指定名勝】

国が指定した文化財のひとつ。特に「名勝」は優れた景勝地のことを指し、温泉としては全国で初めて海、血の池、龍巻、白池の4つの地獄が選ばれました。

⑤ 鬼山地獄



鬼山という地名に由来する鬼山地獄。別名「ワニ地獄」の名で親しまれています。大正12年に日本で初めて温泉熱を利用したワニの飼育を始め、現在100頭のワニを飼育しています。泉温98度。

⑥ 白池地獄

国指定名勝



噴出時は無色透明の熱湯ですが池に落ち、温度と圧力の低下により自然に青白色を呈してきます。園内では温泉熱を利用して、各種の大型熱帯魚を飼育しています。泉温95度。含むホウ酸食塩泉。

⑦ 血の池地獄

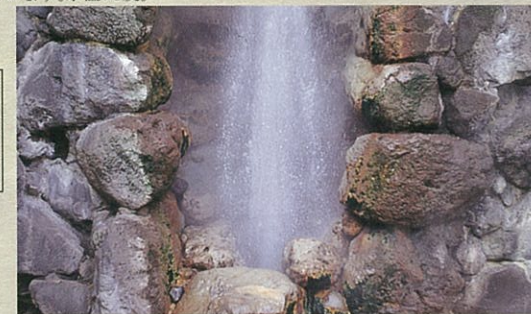
国指定名勝



煮えたぎる粘土は、噴気までか赤色。豊後風土記に「赤湯泉」と記された日本最古の天然地獄です。ここから産出する赤い粘土で、皮膚病に効く「血の池軟膏」が作られています。泉温78度。

⑧ 龍巻地獄

国指定名勝



別府市指定天然記念物の「間欠泉」。間欠泉は一定の間隔で熱湯と噴気を噴出します。世界の間欠泉の中でも休止時間の短いことにおいて注目を浴びています。